

プロロジス、大阪府豊中市にて BTS 型物流施設 「プロロジスパーク豊中」の竣工式を挙行

～既存施設を建て替え、ラストマイル配送拠点として新設～



背後に大阪国際空港(伊丹空港)を望む「プロロジスパーク豊中」

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役会長 兼 CEO:山田 御酒)は、2026年3月25日、大阪府豊中市において、「プロロジスパーク豊中」の竣工式を執り行いました。同施設はヤマト運輸株式会社(本社:東京都中央区銀座、代表取締役社長:阿波 誠一、以下ヤマト運輸)の BTS 型物流施設(特定企業専用施設)として開発されました。

竣工式には、ヤマトホールディングス株式会社の代表取締役社長 長尾 裕 氏やヤマト運輸の常務執行役員(関西 統括) 松田 弘士 氏、設計・施工を担当する三和建設株式会社の代表取締役社長 森本 尚孝 氏をはじめ関係者の方々、プロロジスからは山田 御酒らが参列し、施設の完成を祝いました。

「プロロジスパーク豊中」の開発地にはヤマト運輸の事業所が立地していましたが、老朽化に伴い、機能更新が必要となっていました。ヤマト運輸のニーズに応じてこのたびプロロジスが再開発を行い、ヤマト運輸にリースバックします。ヤマト運輸は、豊中市の集配を担当するラストマイル拠点として同施設を利用する計画です。

■ 開発地:伊丹空港至近、豊中市全域にアクセスしやすい希少立地

開発地は、大阪国際空港(伊丹空港)からわずか約 1km の地点に位置し、阪神高速道路「豊中 IC」から約 7 分、「大阪空港 IC」から約 6 分の地点に位置しています。豊中市内全域に約 20 分で到達できるほ

か、大阪・兵庫の主要地域へのアクセス利便性に優れた希少な立地であります。また、周辺地域には住宅地が広がり、雇用確保にも優位であります。

■ 施設概要:ラストマイル拠点として、多数の配送車両の乗り入れ・荷捌きが可能な仕様

「プロロジスパーク豊中」は、約 4,500 m²の敷地に、地上 4 階建て、延床面積約 11,800 m²のヤマト運輸の BTS 型物流施設として開発されました。同施設は、ラストマイル配送拠点として利用されることから、多数の小型配送車両が施設内に同時着車するため、スロープで各階へアクセス可能な仕様となっています。

1 階事務所エリアには、荷物の発送や受取が可能な受付を整備しました。来客動線と分けられた 1 階倉庫は、大型車両での作業を想定し、ドックレベラー 2 基を備えた高床式バースでスムーズな荷下ろし・積み込みをサポートします。2 階から 4 階倉庫は、低床になっており、倉庫内への小型配送車両の全面乗り入れが可能です。また、多数の EV(電気自動車)に対応するため、各階には合計約 80 台分の EV チャージャーが整備される予定であります。屋上には、68 台分の従業員用の駐車場を備えています。

建物計画にあたっては、近隣に配慮し、窓や換気口を必要最小限にし、さらにスロープを完全に屋内化することで、車両の走行音や内部の作業音が漏れにくい計画としました。

プロロジスでは GHG(温室効果ガス)削減のための社内ガイドラインを設けており、このたびの施設開発にあたっては電炉材*や高炉セメント B 種**を採用しています。約 770t の GHG を削減し、環境負荷軽減に取り組んでいます。

* 電炉材:使用済みの鉄スクラップを電気炉で溶かして再生した鋼材で、従来の鋼材に比べて CO2 排出量を抑えられる環境配慮型の建材。

** 高炉セメント B 種:一般的なセメントに製鉄工程で生まれる副産物「高炉スラグ」を 30~60%混合した環境配慮型のセメント。従来のセメントと比べて CO2 排出量を約 40%削減できるほか、耐久性に優れ、長期的に強度が高まる特長がある。

「プロロジスパーク豊中」物流施設概要

名称	プロロジスパーク豊中
開発地	大阪府豊中市走井 2 丁目 78-13(地番)
敷地面積	4,575.38 m ² (約 1,384.05 坪)
延床面積	11,851.01 m ² (約 3,584.93 坪)
構造	地上 4 階建て、鉄骨造
着工	2024 年 11 月
竣工	2026 年 3 月

■ 関西のプロロジスパーク

関西地方において、プロロジスはこれまで 27 棟の物流施設を開発してきました。現在は兵庫県猪名川町の「プロロジスパーク猪名川 1・2」や京都府京田辺市の「プロロジスパーク京田辺」など 12 棟のマルチテナント型物流施設と、「プロロジスパーク豊中」を含む 8 棟の BTS 型物流施設を運営中です。また、大阪府堺市に BTS 型物流施設「プロロジスパーク堺」の開発を計画しており、入居企業を募集しています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>